

<別紙1>

(1) 論文等の例

発表年	タイトル	筆者
2023	オフバランス無形資産と株式価値評価: CSR モデレータ効果の検証	井出真吾、竹原均、小松原幸明
2023	資本主義と職業倫理の歴史的起源	山口勝業
2023	過去 70 年間の日米のインフレの歴史に学ぶ	山口勝業
2022	バリュー株アノマリー再考 財務特性を考慮した投資戦略の有効性の再検証	井出真吾、竹原均、小松原幸明
2021	時間軸とダウンサイド・リスクを考慮する積立投資の ポートフォリオ選択	山口勝業・小松原幸明・服部陽一
2021	過剰な分配金の副作用 米国 Morningstar の「Income Analysis」データ系列を用いた分析	佐藤弘明
2020	積立投資でリスクはいつ取るべきか？ バランス型ファン ド vs. ターゲット・デート・ファンドの LPM(下方部分 積率)比較	山口勝業・小松原幸明
2019	日本人の金融リテラシーはそれほど低くない!?	山口勝業
2019	家計のリスク性金融資産保有の日米格差 ～年収階層別の保有シェア推計～	山口勝業
2019	家計のリスク性金融資産保有の日米格差	山口勝業
2018	Risk Aversion and Risk Capacity among Japanese Households Financial Assets: An Empirical Evidence from National Survey	山口勝業
2018	定量的パフォーマンス評価の意義	小松原幸明、服部陽一
2017	日本人の金融リテラシーはなぜ低いのか？	山口勝業
2017	Dynamics of integration in East Asian equity markets	小松原幸明、沖本竜義、辰巳憲一
2017	Safe Withdrawal Rates for Japanese Retirees Today	David Blanchett, 山口勝業
2017	長期経済循環の下での株式リスクプレミアムと資産配 分	山口勝業
2016	我が国家計の金融資産におけるリスク許容度	山口勝業
2016	金利の期間プレミアムと金融政策の神話	山口勝業
2015	日本株式のサイズ・プレミアム	山口勝業、小松原幸明
2014	ファンドマネジャーの気合いは有効か？ アクティブ・ウェイトの説明力	小松原幸明、朱永洙
2012	日本における年齢階層別リスク資産配分比率に関す る分析	元利大輔
2011	人口オナーズの下での株式投資	山口勝業
2010	時価総額分位別等金額ポートフォリオによるサイズ・ プレミアム推計	山口勝業、小松原幸明
2009	The History and Economics of Stock Market Crashes	Paul Kaplan, 山口勝業他
2009	株式リスクプレミアムの“長期期待の状態”	山口勝業
2009	時系列分析からみた株式投資	山口勝業
2008	ポリシー・アセットアロケーションの説明力	小松原幸明
2007	「適合性の原則」: 実務上の課題とその解決策	山口勝業
2006	人的資本に基づいた資産配分と生命保険の意思決 定	Peng Chen, Roger G. Ibbotson, Moshe A. Milevsky, Kevin X. Zhu, (訳)元利大輔
2005	わが国産業の株式期待リターンのサプライサイド推計	山口勝業

2005	年金運用におけるダウンサイド・リスク最小化のための最適アセット・アロケーション	山口勝業、小松原宰明
2004	債券の期待リターンの推計 実証分析と将来シミュレーション	小松原宰明
2003	スタイル・インデックスのスタイル分析 業種要因とスタイル固有要因の日米比較	山口勝業、小松原宰明
2003	行動ファイナンスの社会心理学的基礎	山口勝業
2003	日本の株式リスク・プレミアム	山口勝業、金崎芳輔、真壁昭夫、 小松原宰明
2000	アセット・アロケーション・ポリシーはどれだけパフォーマンスを説明できるか - 40、90 あるいは 100%か？	Roger G. Ibbotson and Paul D. Kaplan (訳)山口勝業